

2026年度グローバル・オープン科目：履修の手引き

●グローバル・オープン科目とは

キャンパス横断型の科目群で、次のような特長があります。

- ★ すべての科目は英語を教授言語としています。
- ★ 1年次生から履修できる科目があります。
- ★ 多くの科目が少人数で開講されます。

●履修登録方法

下記「履修上の注意」を読んで、各学部の「履修の手引き（履修要綱）」で内容を必ず確認し、他の科目と同じように各学部で定められた通常の履修登録期間内に登録手続きを行ってください。

●履修上の注意

- ・ 初回授業に必ず参加し、担当教員から履修許可を受けてください。定員のある授業では、選抜が行われる場合があります。ただし、ILAC 主催科目については各学期の最初の授業日の2日前までに、Hoppii 上で仮登録を行ってください。
- ・ 講義のテーマについてある程度の予備知識を必要とする科目もあります。初回授業前に WEB シラバスを必ず読んで授業に臨んでください。
- ・ 開講曜日・時限・教室等に変更がある場合や、レポート提出、試験等の情報は、学習支援システム（Hoppii）や主催学部等の WEB 掲示板に掲載されますので、ご注意ください。
- ・ 開講校地は、原則として、各科目の主催学部等の所在地となります。特にキャンパスの間違いのないよう留意して計画をたててください。
- ・ 他キャンパスの授業を受講する場合には、同一曜日に自学部の授業を受講できないなど制限がある場合があるため、各学部の履修の手引き等で事前に確認してください。
- ・ 市ヶ谷リベラルアーツセンター（ILAC）主催科目の履修について、法学部・文学部・経営学部・国際文化学部・人間環境学部・キャリアデザイン学部の学生は、単位認定先について必ず各学部の履修の手引きを確認してください。
- ・ 秋学期科目の一部には、春学期に履修登録の意思を教員に表明し、履修許可を予め得る必要のある科目があります。秋学期科目の履修許可を得ないで春学期に登録した場合、履修を取り消される場合がありますので、十分に留意してください。
- ・ 秋学期が最初のセメスターとなる秋季入学生や交換留学生は、その年度の春学期に履修することが前提となる科目があり、第一セメスターに履修できない場合があります。
- ・ 国際文化学部・グローバル教養学部の主催科目、及び市ヶ谷リベラルアーツセンター（ILAC）が主催する一部の科目を履修する場合は、一定の英語能力基準が必要です。詳細は、各科目のシラバスを確認して下さい。
- ・ デザイン工学部主催科目は、市ヶ谷田町校舎で開講されます。
- ・ 単位の取り扱いについては、多くの学部で卒業所要単位として決められた単位数まで加算されます。単位認定に関する詳細や卒業進級の要件については、必ず各学部の「履修の手引き（履修要綱）」等で確認してください。履修登録時には他の専門科目と同様に年間履修の上限単位数に含まれます。

●グローバル・ポイント制度について

グローバル教育センターでは「グローバル・ポイント制度」を実施しており、留学や語学研修など大学が指定する対象プログラムへの参加についてポイントを付与することで、学生の皆さんがそれぞれの活動状況を把握し、今後の学習に役立てることを目的としています。

一定のポイント数を獲得した方についてはロールモデルとして表彰されます。グローバル・オープン科目の受講も、本制度申請対象となりますので積極的に受講してください。

以上